

中村 雅一
議員

本市のいじめ件数は

全小中学校あわせ30件

問 児童・生徒の「いじめ」等について

① 本市のいじめ件数、内容及び対応等は。

② いじめの要因をどのように考えるか。

③ 学校、保護者及び地域が、いじめ要因の基本的理解と共通認識を持ち、協力して対応する方策を考えるべきでは。

④ 大津市のいじめ事件で教育委員会の存在意義を問う意見もあるが、教育の中立、学問の自由・独立等から現制度は堅持すべきと思うが、教育長の考えは。

指導担当部長

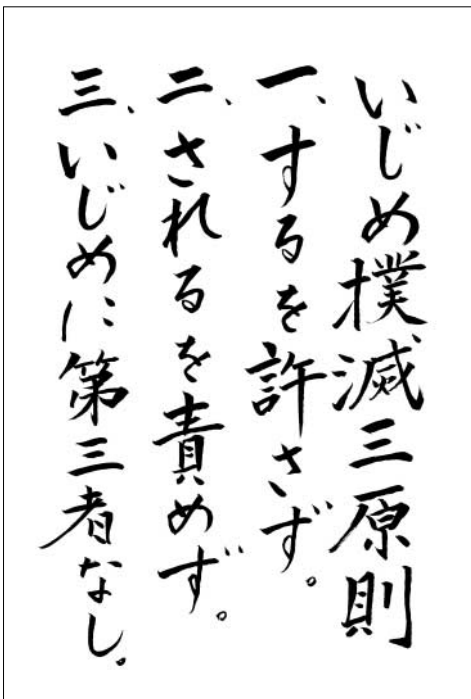
① アンケート調査では、全小中学校合わせて30件報告され、冷やかしたり悪口等が最も多かった。対応としては、双方の保護者への連絡やいじめにかかわった児童・生徒に対し、聞き取り及び指導を行っている。

② いじめめる児童・生徒の個々の要因と学校・家庭・地域社会が密接に関連していると考えられる。

③ 思いやり等をテーマにした道徳授業の公開や専門家による講演会を開き、保護者や地域の方も交えて一緒に考えていく機会を設けている。

④ 教育行政の中立性や安定性確保のため、堅持すべきと思っている。

他に生活保護制度の現状について質問した。



あきる野市いじめ撲滅三原則

問 観光について

平成23年6月、あきる野市観光推進プランが策定され、あるきたくなる街あきる野をめざした観光まちづくりの具体的施策の方向性が示された。そこで以下に伺う。

① 養沢地域活性の拠点ともなる「小宮ふるさと自然体験学校」の市民の体験料を、無料あるいは減額する考えはあるか。

② 「森っこサンちゃん」の定義と今後の活用方法は。

③ 原動機付自転車等向けに「森っこサンちゃん」のご当地ナンバープレートを作っはいかかがか。

④ 商工会などとの連携で、「るのサブレ」や「だんべえ汁」等の充実、推進を図る考えは。

環境経済部長

① 全体的に柔軟に考え、大枠では、市内の方の体験料は半分にする考えを持っている。

松原 敏雄
議員

森っこサンちゃんの活用は

地域経済を高める推進力としたい



小宮ふるさと
自然体験学校



② 環境都市あきる野を目指す市のイメージキャラクターである。今後も活動の場を広げ、誘客活動と地域経済を高める推進力としていきたい。

③ 動く広告塔的な発想とすることで、関係部署と検

討させていただきたい。

④ 横断的な取り組みが必要であり、協働による観光まちづくりを進められるよう関係団体と調整していきたい。

子籠 敏人
議員

赤ちゃん登校日の実施は

効果的な実施を検討したい



境港市の赤ちゃん登校日事業

問 「赤ちゃん登校日」の実施について
 ① 鳥取県境港市の「境港・ハッピー赤ちゃん登校事業」を視察したが、笑顔あふれる事業であった。本市でも実施する意義が大いにあると考えるがいかがか。
 ② 市内の学校で赤ちゃんを招いての取り組みをしているところはるか。ある

場合、市内各校へ紹介し、広げてはどうか。
 ③ 赤ちゃん登校日について広めていく観点から、研究授業として一度テーマ設定して取り組んではどうか。

指導担当部長

① 道徳の時間等を中心に、様々な体験活動を通して、自他の生命の尊重、あるいは弱い者・小さい者への思いやりの心を育むといった道徳性を養うことは重要であると考えている。
 ② 小学校1校で乳児と父母が、子育ての苦労や喜び等を語ることで、大切に育

てられていることを実感させ、自他の生命の大切さを考える授業を行っている。校長会や道徳主任会等で紹介し、少しでも広げていくよう支援していきたい。
 ③ 昨今のいじめ問題の未然防止や、生命尊重の教育を進めていく観点からも重要であることから、研究授業の効果的な実施について検討していきたい。

他にマスコットキャラクターを生かした市政情報の発信、太陽光発電等への設置補助拡大について質問した。

問 消防団員の健康診断について

平成16年2月19日付で消防庁から消防団員の活動環境について通知があった。この中で消防団の活動は、

災害現場での危険な活動が多く、緊張を伴うものであることから消防団員は常に気力、体力の充実に努めるよう求められている。しかし、消防団における被雇用者・サラリーマン団員率の上昇、平均年齢の上昇に伴い、日頃から消防団員自身の気力体力の保持がますます必要となってきた。については、消防団員の健康管理を促進するため健康診断を導入すべきと考えるが、見解を伺う。

総務部長

市においては、平成19年度までは市の健康診断検査の中で消防団員についても受診の機会があったが、現在は特定健診に移行しており、34歳以下の自営業等の

堀江 武史
議員

消防団員の健康診断は

前向きに検討したい



市内の消防団員

消防団員については、受診の機会が設けられていないのが実情である。市としては、消防団員の健康管理は重要であると認識し、火災現場等危険な活動が多く、体力や気力を必要とするため、今後、消防団幹部と調整すると共に、西多摩の各

市町村とも調整を図りながら、健康診断実施に向け、前向きに検討したいと考えている。
他に道路整備について質問した。

野村 正夫
議員

女性消防団員の検討は

協議を進めたい

問 活力と希望にあふれる「まちづくり」について

① 商店活性化を図るため、空き店舗の解消などで雇用の創出につながる企画がでないか。
② 若者を含め、求職中の市民に雇用アドバイザーの窓口を設け、就労相談や職業訓練費用の助成金等で雇用の創出を考えないか。

③ 若者の定住と婚活を視野に行政主導で「まちコン」の企画を考えたらどうか。

④ 市民の防災意識高揚と消防団活性化のため、女性消防団の組織を考えたらどうか。
⑤ 都市近郊農業の優位性を生かし、都市部との連携で特産野菜のブランド化を考えたらどうか。

環境経済部長

① 調査により空き店舗の状況を把握し、結果を踏まえ関係団体と協働で取り組んでいきたい。
② 就労や教育訓練の相談を実施している。教育訓練費用の支援制度もあり、関係機関と連携した支援策の周知を行い、雇用創出につなげたい。
③ 地域活性化や婚活支援として認識しており、必要に応じて支援していく。

企画政策部長

④ 男性消防団員を補完する役割があり、今後消防団幹部の方々と協議を進めたい。
⑤ 新たな特産野菜のブランド化に向け取り組み、農業の活性化につながる施策を考えていく。

環境経済部長

他に財政について質問した。

他に有害鳥獣の出没と対策について質問した。



東大和市女性消防団員

木造市営住宅居住者の入居は優先して入居してもらう

奥秋 利郎
議員



草花公園住宅建設予定地

問 住宅政策について

① 草花公園住宅事業は、鉄筋コンクリート造の3階建てと、木造の2階建て1棟に変更されたとのことだが、13箇所市営住宅に現在居住されている方々は、草花公園住宅に入居されるのか。
② 移転後の市営住宅は解体し土地を売却するのか。

③ 売却代金の見込み額は、

④ 東京都は高齢者が医療や介護等が必要になっても安心して住み続けることができる住まいを充実させることを目指し、医療介護連携型サービス付高齢者向けモデル事業を公募しているが、本市の予定はどうか。

総務部長

① 現在、木造市営住宅に46世帯が住んでいるが、新しい住宅に優先して入居してもらうよう進めていきたい。

② 平成27年度に解体及び撤去をする計画になっているが、跡地の取り扱いについては個々具体的に検討していく必要がある。売却した場合は、15億8800万円になると試算している。

④ サービス付き高齢者向け住宅の建設等に係わる当分の間の基本方針を制定した。この基本方針に沿った整備を予定している事業者と相談、調整をしていく。

他に有害鳥獣の出没と対策について質問した。

録画配信 開催日別 公開一覧表

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

(時間は答弁も含まれています)

	質問者	質問事項	時間
9月4日 一般質問	清水 晃	五日市地域の活性化について	62分
	田中 千代子	飼い主のいない猫（野良猫）対策について	39分
	増崎 俊宏	社会資本の老朽化対策について	59分
9月5日 一般質問	細谷 功	普通財産について	55分
	山根 トミ江	「るのバス」に電気バス導入について	59分
	戸沢 弘征	就学援助制度の活用について	61分
	合川 哲夫	いじめ問題について	61分
	たばたあずみ	小中学校へのエアコンの設置について	53分
	村木 英幸	福祉について	61分
9月6日 一般質問	中村 雅一	児童・生徒の「いじめ」等について	50分
	松原 敏雄	観光について	61分
	子籠 敏人	「赤ちゃん登校日」の実施について	53分
	堀江 武史	消防団員の健康診断について	21分
	野村 正夫	活力と希望にあふれる「まちづくり」について	48分
	奥秋 利郎	住宅政策について	50分

あきる野市議会 トピックス

Akiruno City Assembly Topics

南岸道路の整備促進を東京都へ要望

平成24年度秋川南岸道路の整備に関する要望活動



清水会長(右)と坂本副会長(榎原村議・左端)

秋川南岸道路の整備計画は、あきる野市上代継から檜原村本宿間を東西に結ぶ幹線道路を4つの工区に分けて進められています。

すでに完成した網代から留原間（第3工区）以外の道路整備促進について、秋川南岸道路建設促進協議会を代表して、8月3日に清水会長が東京都へ要望しました。

下水道建設促進を東京都へ要望

平成24年度秋川流域市町村下水道建設促進協議会要望活動



東京都庁での要望活動

秋川流域市町村の下水道建設を促進するため、「平成25年度予算編成に際し、公共下水道事業の東京都補助率の引上げと、必要な予算措置を図ること」など5項目について、8月7日に東京都へ要望しました。

インフォメーション

Information

議会だよりに対するご意見・ご感想はこちらまで 〒197-0814 あきる野市二宮350番地 あきる野市議会事務局 TEL558-1111

インターネットで会議録と議会だよりがご覧になれます

あきる野市のホームページに市議会の会議録検索コーナーがあり、平成7年9月以降の本会議、常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会の会議録が掲載されています。

また、平成18年5月1日以降に発行した議会だよりもご覧になれます。

あきる野市ホームページの

「あきる野市議会」から

「会議録検索」

「議会だより」

を検索し、ご覧ください。

議会本会議を動画で見よう！

現在、市議会のホームページでは、平成24年第3回定例会本会議の様相を録画配信しています。ぜひ、ご覧ください！

傍聴に行こう！

あきる野市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。お気軽にお越しください。

平成24年第3回定例会傍聴者数は延べ67人でした。

「Y1」 ③ 2. 開

「Y1」 ① 1. 開

クイズの答え

次回議会だより発行予定

次回平成25年2月1日発行予定の議会だより第70号から、リニューアルを予定しています。

「手にとっていただく」をスローガンに、わかりやすく市民に親しまれる議会だよりを目標にレイアウトや掲載内容などを変更する予定です。

議会だよりを通して、自分たちの生活にかかわる議会の活動を知っていただけたらと思います。

今後とも議会だよりをご覧くださいませよう、よろしく願いいたします。

請願・陳情はお早めに

12月定例会では11月21日(水)までに提出された請願・陳情を審査します。なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、お早めに議会事務局までご持参ください。

「請願」「陳情」の提出方法は？

①請願と陳情の違いは？

請願は、市議会議員の紹介が必要です。

議長が受理し、各常任委員会に付託され審査されます。議会最終日に各常任委員長が審査結果を報告し、採択・不採択を決定します。

陳情は、市議会議員の紹介は不要です。

取扱については、請願と同じです。

②書き方は？

○○○に関する請願（陳情）	
1. 趣旨	
2. 理由	
紹介議員	○○○○ ㊟
	平成 年 月 日
請願（陳情）者	
住 所	
氏 名	㊟ 外 名
電話番号	
あきる野市議会議長	○○○○ 殿

● 請願（陳情）の趣旨、理由については、できるだけ簡潔に書いてください。また、場所などの表示が必要なものは、図面を付けてください。

● 2名以上で請願（陳情）を行う場合は、住所・氏名を書いた署名簿を添えてください。なお、署名者が、その請願（陳情）の趣旨に賛同していることがわかるように、各署名簿に件名、趣旨、理由を記載してください。

* 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

③提出先は？

あきる野市役所本庁舎6階の議会事務局に、直接持参してください。受付時間は平日の8時30分～17時15分までです。

クイズ

問1 市長が提出した議案は何件？

- ① 21件
- ② 22件
- ③ 23件

問2 一般質問者数は何人？

- ① 13人
- ② 14人
- ③ 15人

答えはP15の中にあります。



日本には風の名前が2000以上もあると言われています。これからの季節に吹く風には「空風（からっかぜ）」や「おろし」などもありますが、この時期一番有名なのは「木枯らし」ではないでしょうか。

木枯らしは、晩秋から初冬に吹く冷たい北風で、木々の葉を散らし、枯れたようにしてしまうことが名前の由来となっているようです。

気象庁が発表する「木枯らし1号」は、冬の到来を告げるメッセージになっていますね。

12月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11月18日	19	20	21	22	23	24
			請願・陳情 締切日			
25	26	27	28	29	30	12月1日
					本会議初日 議案審議	
2	3	4	5	6	7	8
		本会議2日目 一般質問	本会議3日目 一般質問	本会議4日目 一般質問		
9	10	11	12	13	14	15
		総務 委員会	環境建設 委員会	福祉文教 委員会		
16	17	18	19	20	21	22
				本会議最終日 委員長報告 追加議案審議		

*午前9時30分から開会します。（変更となる場合があります）

編集後記

柿の実も色づき、笛や太鼓が響きわたり、各地で五穀豊穣や無病息災を祈願した祭りでにぎわう季節となりました◆9月の第3回定例会では、決算特別委員会により平成23年度決算が認定されるなど、いろいろな面で実りの多い定例会でありました◆自主財源の確保、歳出の削減、行財政改革の推進は継続した大きなテーマですが、その他、市民の皆様身近な問題が掲載されている議会だよりを、今後もご覧ください◆また、ぜひ一度傍聴にもお越しください。

編集委員 細谷 功